

人形劇豊丘公演「オズのまほうつかい」



8月9日



第726号
 発行人●豊丘村公民館
 館長 市澤和宏
 編集人●長野県下伊那郡
 豊丘村公民館報
 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
 (8月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,341人
 女 3,369人
 総人口 6,710人
 世帯数 2,221戸

新型コロナウイルスの終息の目途が立たない中、今年度は、長野県男女共同参画センターが主催する「さんかくセミナー」のサテライト会場となり、コロナ禍に於いてもセミナーを開催できる形を取った。

サテライト会場とは、メイン会場から配信されている動画(講演)を別の会場でも視聴できるものである。

一番良いセミナーの形は、講師に取材いただき同じフロア、同じ空気で開催することだと思うが、今はそれが難しい。スクリーン越しのセミナーは少し淋しいが、メリットもある。遠い場所で行われている講演会などに気軽にネットを通じて参加できる。そのためこの参画セミナーも今年度色々なテーマで六回開催が可能と

女性の地位確立を唱えていたひと昔前と違い、今は様々な課題が溢れている。「セクシャルマイノリティ」「LGBTQ」「ダイバーシティ」などの用語が並び普段の生活とは縁の無い世界のように感じるが、オリピックの開会式では、七色のドレスで君が代を歌っており、その七色は「多様性」

を表現しているとされている。時代に乗り遅れないため、SDGsの第五の目標である「ジェンダー平等を実現しよう」などの男女共同参画に関わるターゲットに取り組んでいくため、ぜひ「さんかくセミナー」に足を運んでもらいたい。

第一回は七月十七日に開催された。講師は、資生堂で「働き方改革」に積極的に取り組む、長野県男女共同参画審議会委員で県の第五次共同参画計画策定に関わった山際清子氏。県の第五次参画計画の概要説明と、長野県が他県より遅れていると感じる具体的な事例を

ご自身の経験を交えて説明していただいた。第二回目以降の受講申し込みは教育委員会まで。

また、さんかくセミナーの企画運営や村の男女共同参画に一緒に取り組んでいただく方も募集している。

(教育委員会事務局 松村佐織)

子供の頃、休みには、いろいろチャレンジしたが、今になって良かったなあと思っています。皆さんはどうでしたか?

次の休みには、時間を有効に使って、思い出づくりをしましょう。

(原 明美)

第18回豊丘村さんかくセミナーが始まる

サテライト会場 7月17日

今年度の成人講座は全四回をオンラインで開催し、第四回目の講座は、豊丘中学校の全生徒と南北小学校の六年生も聴講しました。

成人講座第三回、第四回を聴いて 壬生康正

第三回目は河野博子先生によるSDGs(エスディーズ)についての講演でした。はじめは読み方も分からなかったSDGsという言葉ですが、最近はずっかり世の中に定着してきた気がします。その源流は、一九九二年にリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議(通称地球サミット)」に端を発し、その二十年後再びリオで開催された「国連持続可能な開発会議(通称リオ+20)」の成果文書の中でSDGsの政府間交渉の開始が合意されたことがスタートです。

第四回目は田中史朗先生

全世界の国を対象として十七の目標が定められ、環境だけでなく経済や社会に関連する目標も入っていることが特徴です。今、人権・労働・環境問題へ対応するため世界的な大企業でさえそのビジネスモデルを変えようとしています。SDGsの目標を達成する過程においては自分たちの生活が不便になったり不都合が生じたりする可能性があります。我々は変化を受け入れる必要があるのです。また、SDGsを標榜し、環境や社会に良くない活動(SDGsウォッシュ)をする事業や企業も出てきます。そのような目論見に加担しないためにも様々な情報を正しく取捨選択し、偽物と本物のSDGsを見分ける目を持つ必要があります。SDGsの目標達成に向けて我々自身の成長も求められているのです。

第四回目は田中史朗先生

成人講座 オンライン

第3回 ジャーナリスト 河野博子氏

第4回 プロラグビープレイヤー 田中史朗氏

その活躍ぶりはテレビ等で皆さんご存じのことでしょう。リモートとはいえライブでダイレクトにお話を聞く機会はそうそうないと思います。さて、一番印象に残ったのは「失敗して落ち込んでも良いことは何もないので、失敗の原因を分析し、改善方法を考えたほうが良い」との言葉です。失敗を正面から受け止め、その原因分析と改善を行うことで失敗を克服し、成長へと繋がる前向きなエネルギーに変えてしまおう。ここにアスリートの強さの秘密を垣間見た気がします。その姿勢を少しでも見習いたいものです。また、オリピックの開催について、アスリートの活躍を通じて感動や前向きなエネルギーを伝えられる機会であるとの

ポジティブな意見をいただきました。運営にはいろいろと課題があるかもしれませんが、その舞台を支える多くの方々の努力も含めて、アスリートの活躍に素直に声援を送りたいと思いました。

今年度の成人講座はコロナ禍ということもありオンラインによる開催でしたが、ライブでリアルタイムに講演を聞くことで内向きになりがちだった視野が外側へ広がり、ポストコロナに向けて前向きかつ新しい考え方が得られたと感じました。

今年度の成人講座はコロナ禍ということもありオンラインによる開催でしたが、ライブでリアルタイムに講演を聞くことで内向きになりがちだった視野が外側へ広がり、ポストコロナに向けて前向きかつ新しい考え方が得られたと感じました。

今年度の成人講座はコロナ禍ということもありオンラインによる開催でしたが、ライブでリアルタイムに講演を聞くことで内向きになりがちだった視野が外側へ広がり、ポストコロナに向けて前向きかつ新しい考え方が得られたと感じました。

今年度の成人講座はコロナ禍ということもありオンラインによる開催でしたが、ライブでリアルタイムに講演を聞くことで内向きになりがちだった視野が外側へ広がり、ポストコロナに向けて前向きかつ新しい考え方が得られたと感じました。

今年度の成人講座はコロナ禍ということもありオンラインによる開催でしたが、ライブでリアルタイムに講演を聞くことで内向きになりがちだった視野が外側へ広がり、ポストコロナに向けて前向きかつ新しい考え方が得られたと感じました。

歌は世につれ〜十二話

「一人の道」：円谷よ、永遠なれ…

上佐原 小池 光好

一年延期された東京二〇二〇オリンピックが、ほとんどの会場で無観客となるなど、さらなる紆余曲折を経て開催された。オリンピックと言えは、テマソンピックと言えは、皆さんの印象に残っているテマソングあるいは関連した歌は何ですか？私のそれは、二〇〇四年アテネ大会のNHKの「栄光の架橋」である。刈屋アナウンサーの「伸身の新月面が描く放物線は栄光への架け橋だー」の実況とともに、脳裏に強く焼き付いている。

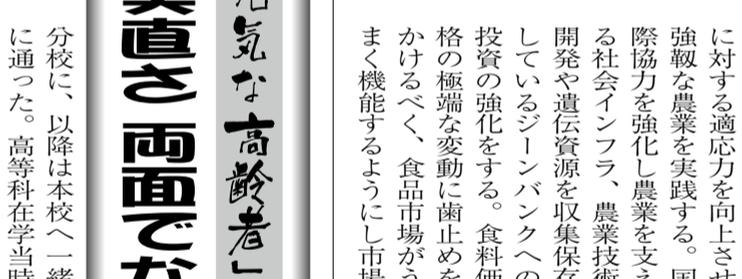
(一)で皆さんにある歌を紹介

介した。それは、ピクピクルスの「一人の道」(一九七二年発売)。一九六四年の東京大会のマラソンで銅メダルを獲得した円谷選手の遺書を元に作られた歌である。円谷の銅メダルは、オリンピックの陸上競技で戦後初の獲得という快挙であった。四年後のメキシコ大会への期待が高まる一方で、持病の腰痛に悩まされ、手術に踏み切るも結果を残せなかった。そしてメキシコ大会目前に「もうすっかり疲れきってしまつて走れませんと遺書を残し、自ら命を絶つた。誰のために走るのであるか？何のために進むのか？」とある歌を紹介

一九八四年のロサンゼルス大会で金メダル二個を獲得した体操の具志堅選手は、「この歌が自分の応援歌だ。辛いトレーニングをこの歌を聴いて頑張った」と作曲した茶木みやこに言った。茶木は、いろいろな人に勇気を与えていたことを知って、健在だった円谷の両親に配慮して長らく歌ってこなかったこの歌を、二〇〇一年から再度歌い出したという。

円谷の自殺は、戦後という時代と世相を背景に、生真面目さと強い責任感があだとなった悲劇と言ってもいい。円谷の悲劇が近年

の日本選手の活躍の礎のひとつになっていっていると信じたい。円谷よ、永遠なれ。



の日本選手の活躍の礎のひとつになっていっていると信じたい。円谷よ、永遠なれ。

の日本選手の活躍の礎のひとつになっていっていると信じたい。円谷よ、永遠なれ。

の日本選手の活躍の礎のひとつになっていっていると信じたい。円谷よ、永遠なれ。

の日本選手の活躍の礎のひとつになっていっていると信じたい。円谷よ、永遠なれ。

目標2 飢餓をゼロに

~SDGsって何⑥~

公民館長 市澤和宏

●目標2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

ターゲットは全部で八つ。内、具体的な目標を達成するための方法三つです。二〇三〇年までに飢餓を撲滅し全ての人、特に貧困層及び幼児などの弱者が安全で栄養がある食料を十分得られるようにする。あらゆる形で栄養不良を解消し、

若年女子、妊婦、授乳婦、高齢者の必要な栄養が得られるようにする。開発途上国での農業生産性及び所得を増加させる。生態系を維持しつつ気候変動等の災害に対する適応力を向上させ、強靱な農業を実践する。国際協力を強化し農業を支える社会インフラ、農業技術開発や遺伝資源を収集保存しているジーンバンクへの投資の強化をする。食料価格の極端な変動に歯止めをかけるべく、食品市場がうまく機能するようにし市場

の情報が適切に容易に得られるようにする。が、国連の提唱している内容です。二〇一八年度は八億二千万人が十分な食事ができず飢餓状態であると推定されています。様々な格差を助長する飢餓を解決しなければSDGsは達成できないと思います。飢餓と飽食は反対の言葉ですが途上国の貧困、先進国の飽食はとも深い関係にあります。二〇一七年肥満の成人は北アメリカに多く六億七千二百

万人でした。牛肉一キロ生産するのに必要な穀物は何と十一キロだそうです。地球規模で考えると外国からの肉の輸入は穀物を輸入していることになるのです。この目標2に対して私たちにできることは何かを考えてみましょう。

- ①肉を少なく野菜を多く食べる
- ②食べ物を残さない
- ③なるべく近場の産地の食材を選ぶ
- ④自分で調理する
- ⑤生ゴミを生かして堆肥

優子さんと結婚した。優子さんは仕事で家を留守にしがちな且馬さんに代わり家事を取り切り、田畑の耕作をほとんど二人で対処するなど献身的に働いた。また且馬さんが土方作業の時には作業者を現場まで送る役目を担うなどして援助した。

且馬さんは現在も車を運転しており、昨年免許を更新したばかりだ。車は生活の上で必須であるが、最近高齢者の事故が多いこともあり殊の外注意している。これといった趣味を持たずゲーム、ボール、カラオケなども縁が無く、一方優子さんは、おからで物事に拘らない性格である。唄が好きで、特に詩吟は十段の腕前で準師範の免許を有する。この対極が夫婦円満の秘訣であろう。旅行は年金友の会主催のもので、且馬さんが飛行機が苦手なため専ら国内だけだ。健康面では二十年前に尿道結石で入院したことがあるが、それ以外に入院歴は無い。食べ物に好き嫌いは

無くほとんどの物を美味しく頂ける。アルコールは元来強くは無く、諸々の宴会も早く引き上げる方だ。それでも晩酌は少量ながら夫婦で毎晩欠かさない。適量が健康に良さそうだ。それでも定期的に医者に通い健康チェックを受け注意していることもあり聴力、視力は良好で、脚力は歩く早さこそゆつくりであるがしっかりと足取りである。テレビは時代劇が好きで、他にはニュースを見る程度だ。

きょうだいで健在なのは二人の妹だけとなり寂しさは拭えない。平凡な人生だったと謙遜するが、他人には中々真似が出来ないほどの芯の強さを感じた。現在二人暮りであるが、リソ、柿、梅は体力的に厳しくなってきたため二年前に止め、すもも及び自家用の野菜を少々作っている程度だ。長野市で暮らす長女夫婦及び孫二人が時々訪れてくれるのを楽しみに穏やかに暮らしている。

文責 桐崎長一

北川下流域三六災害体験談(27)

誰もが学んでいるはずなのに…

原 章 (古畑)

☆小五で「流れる水の働きと土地の変化」の学習をします☆

学習指導要領解説によれば、「雨の降り方によって、水の速さや量が増し、地面を大きく浸食したり、石や土を多量に運搬したり堆積させたりして、土地の様子が大きく変化する場合があることを捉えるようにする」などと自然災害にも触れる内容となっています。

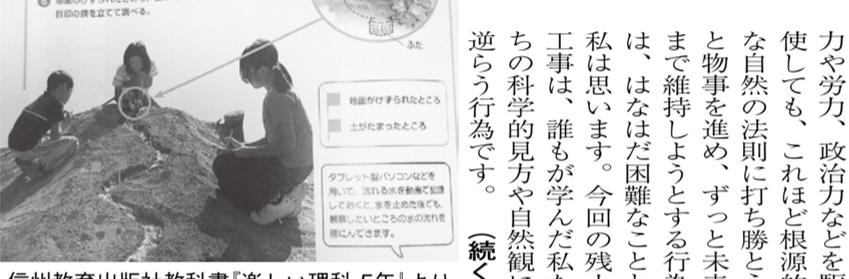
つまり小学校五年生にもなれば、大きな豪雨災害が起きれば、上流から浸食によりたくさんの岩石や砂が流れてきて下流に堆積するといったことを自然の現象として理解できるようにするわけです。

☆こんな常識的なことが無

視されている☆

山奥の深い谷にリニアトンネル工事の大量残土を置く工事が始まっています。浸食して削られて険しい谷となった場所に高く盛り上げて残土を置くわけです。当然に浸食の強い作用を受けます。自然の法則に反すれば、浸食の格好の対象となり、強大な自然の力が働き、しつぺ返しが起こるようになります。

どの資金力や技術



信州教育出版社教科書『楽しい理科 5年』より

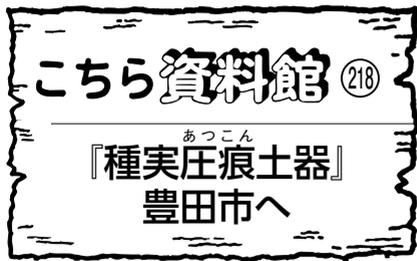
昭和六年に六人きょうだい(男三女三)の長男として現在地に生まれた。両親は養蚕を主とし他に米、柿、梅、炭焼き、林業などを手掛けていたが、小作のため経済的には恵まれていなかった。且馬さんは長男でかつ体も丈夫であったこともあり、幼少の頃から家の手伝いを進んで行っていた。近くには同年代の子が多く住み賑やかな集落であった。特に同級生五人とは仲が良く小学校四年生までは

分校に、以降は本校へ一緒に通った。高等科在学当時は戦争末期で否応なしに勤労奉仕また農兵隊としての活動が免れなかった。終戦後は自宅で家業を手伝った。当時植林した榎、杉などが今では立派に成長しているのを見ると感慨深い。

農業、林業の収入を補填すべく三十歳ころから土方作業を始めた。送電線ケーブル建設事業が本格化し出した当時で、鉄塔建設の基礎構築工事が各地であった。巨大なコンクリート基礎であり大手会社の下請けとなつて働いた。最初は作業員であったが、やがて真面目な働きを認められて全体的な責任を任されるようになった。三十六年に親戚の人の紹介で上大島出身で六歳下の

無くほとんどの物を美味しく頂ける。アルコールは元来強くは無く、諸々の宴会も早く引き上げる方だ。それでも晩酌は少量ながら夫婦で毎晩欠かさない。適量が健康に良さそうだ。それでも定期的に医者に通い健康チェックを受け注意していることもあり聴力、視力は良好で、脚力は歩く早さこそゆつくりであるがしっかりと足取りである。テレビは時代劇が好きで、他にはニュースを見る程度だ。

文責 桐崎長一

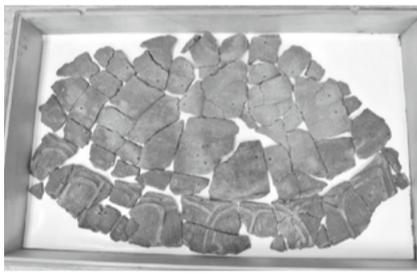


資料館で常設展示されている『種実庄痕土器』(写真)が、愛知県豊田市の郷土資

料館で開催中の展覧会「縄文ライフ・SDGsの種を探しに」で是非展示したいとの依頼を受け、しばらく当館を留守にしています。この縄文中期(約四千五百年前)の土器については本欄でも何回か紹介していますが、今から四十五年前の昭和五十一年、伴野原遺跡から発掘されました。土器の表面や内部にアズキ(野生種)の種子の痕が三百個以上も残っている非常に

貴重なものです。このように植物の種子などの痕が残っている土器は割と多く報告されているようですが、そのほとんどは、土器を作る過程で種などが偶然紛れ込んでしまったもののようなのです。しかし、豊丘の土器は、三百粒ものアズキですので、とても偶然に混入したとは思えません。明らかに、人為的・意図的に入れたものと考えられます。それも、土器を作る前

の粘土にアズキの種子を混ぜ込んで造形し、その後野焼きしたものと思われ、なぜかこのようなことをしたのは謎です。でも、色々な想像を巡らすことは自由です。その中で、SDGsに結びつくようなことを思いついたら教えてください。なお、この『種実庄痕土器』は十月に返ってきます。すぐ仙台市の「地底の森ミュージアム」に貸し出す予定となっています。今



度は「パン状炭化物」も一緒です。(資料館主任 唐澤武彦)

「世界を変えた100のスピーチ」上・下 コリン・ソルター(著)



「全国厄除け郷土玩具」 中村 浩訊(著) 誠文堂新光社 「赤べこ」や「飛驒のさるぼほ」の赤色には病除けのおまじないの意味がある、除災招福の「鸞」(鳥の鸞を模った木製のお守り、悪かったことをウソにすることから)は、地方によって色や形、模様が異なる、など、個性豊かな郷土玩具が紹介されています。

柳 (豊丘村川柳クラブ豊柳会)

▼課題「知」久保ひろし 選

知多の海コナでアサリ眠ってる 市沢 照子
 巣作りに軒下知って来る燕 安田 喜子
 人災と天は知ってる土石流 林 もも子
 人格を変えてしまおうか認知症 小澤 凛
 軸吟：浅知恵と口軽症が罪犯す

▼課題「多」互 選

反対が多数の五輪なぜ強行 桃沢 健介
 義援金多少は問わず気持ち込め 久保ひろし
 大谷の最多ホームマー世をわかす 山本 義彦
 ▼自由吟 桃沢健介 選

お日様と達者がすべて野菜畑 西元 峯子
 隊長は撃て撃て部下は弾丸がない 福沢 勝美
 ギリギリにドタバタ五輪無観客 原 美風
 軸吟：命より五輪大事とバツハ吠え

「どこかに故郷の香りを乗せて」井沢八郎の上野駅の情景を歌った曲の出だしだが、夜行列車で東北から上野駅に早朝到着、就職列車だ。国鉄当時は本線と名の付く路線には夜行列車が数多く走っていた。しかし現在定期で運行されている列車は東京から出雲市と四国の高松までの二本だけ。それも岡山までは併結で岡山で切り離し、それぞれに東京まで。

鉄道の高速度化と自動車道の整備が、夜行列車を消し去った要因で仕方ない。私は半世紀以上を費やしてほぼ全国の鉄道を駆け巡ったが、夜行列車の存在無くして、達成は出来なかった。もっぱら貧乏旅行ではなおさら。夜行列車と言っても、寝台列車「ブルートレイン」ではなくて、通常の客車が夜走るだけで普通運賃で乗車出来る、つまり各駅停車

だ。これが全国を走っていたのだが、やがてブルートレインに特化した。青い車体だったのでそう呼ばれた。それでも国鉄当時はまだ各駅停車が走っていた。JRに分割され、各社が競って豪華寝台特急を導入し、特に北海道と九州までの列車は予約がなかなか取れないほど繁盛し、やがて各駅停車は姿を消す。

さて、サンライズに話を戻すが、この列車も寝台特急だがリクライニングの普通車が連結されているのだが、これに寝台券を合算するとホテルに泊まるよりかなり高くつく。ただ移動しながら宿泊できる事を考えれば何とも言えない。無論、寝台には何回か乗ったが、貧乏旅行にどっぷり浸かった身にはあまりお得感は無かった。サンライズに乗る為に厄介な問題がある。それは各駅停車ではな

いので、乗客を取り扱う最終駅が東京駅を出てから浜松駅だ。つまりこの地の者が乗ろうとすると一旦浜松まで戻らなくてはならない。主要駅である豊橋も名古屋も大阪も停車はするが乗せない。これは時間調整や乗務員の交代で止まるのであって、ついでに乗せてくれない。しかも浜松発が夜中の一時台だ。經由する路線は既に走破しているが、

どうしてもこの列車に乗ってみたい。浜松駅前の飲食店は全て看板を下ろしていたので、駅で待つこと暫し、その長かったこと。のびのび座席の人となり、持参の酒をちびりちびり、やがてとうとうと。最初の乗客取り扱い駅が姫路で五時台、すでに夜が明けていたので、展望車両の横向きのラウンジに移動、やがて岡山で六時二十分、ここで二方面に分かれて、先に高

と(もつと)も経ったんずらよ。お葬式があつてお墓を掘ったら、その一升てんこが出てきたつちゅうわエ。穴掘りの連中驚いた。「こりやあどうだ。えれえもんが出ちまった」「ほんになア」「誰かちよつと見ようやれ」ということになって、恐る恐るとつてみた。「結構あるじゃあねえか」「やい、振つて見ようやれ」「やつ、いい音がしるわい」「こりや、うめえぞ、もしかしたら」

いやはや甘いことつたら毛頭しようがねエ。「おい、俺にも見しよやれ」「やつ、こりやおめでてエ」「まったく彼岸からの贈り物だ」とうとうみな飲んでしまった。そしてぐでぐでんに酔っぱらってしまった。そりや、そうずらよ。十年もまとも十億億土の土の中に埋まるとたもんだからな。これがほんとの埋酒というもんだ。(片桐助弥翁・談) (豊丘村民話集・第貳集) (昭和五十三年)より 文責：壬生雅穂



松行きが出て行き二分後に出雲行き。山陽本線、伯備線、山陰本線経由で終着まで。好天に恵まれ車窓からの展望に堪能した。出雲市駅九時五十八分着。六道湖の夜景を見るべく松江泊まり。

飛行雲再び旅へ半夏生 田廻りの娘の身をつつむ青田風 左千夫忌や青き時代は当に過ぎ 猛暑なり向かいに強き朝日射す 盆裁の鉢に場をえて文字摺草 デイ帰り一日を話す夫の汗 日本の最高所駅お花鳥 笠の夏鶯に目覚めけり 青梅煮つめ卒寿の母を看りをり



大問知子(訳) 原書房 古代から現代までの哲学者、政治家、歌手、起業家など、多彩な人物の百の演説が収録されています。人の心が動く瞬間とは、その時代だから生まれた言葉とは？考えさせられます。

大問知子(訳) 原書房 古代から現代までの哲学者、政治家、歌手、起業家など、多彩な人物の百の演説が収録されています。人の心が動く瞬間とは、その時代だから生まれた言葉とは？考えさせられます。

段丘の農夫の背なな青田風 万緑の木曾の土産や柘植の櫛 唐葛蒲空の半分仰ぎ見る 沖繩忌摩文仁の丘も雨だろか 孔雀仙人掌夫の留守の間つなぎくれ 母送る高速バスの夾竹桃 城主なし浮草は浮草と伍す (とよおか短歌会) 目薬を注せばティッシュを四つ畳み吾の手に渡す二歳の孫娘は 純白のカサブランカの香る道欵声あげるランドセルの子等 壬生 千春 淋しさをなべて一つに集約し澄める思いに誕生日迎う 毛涯百合子 憲法と戦争放棄の講話聞き憲法解釈むづかしかりき 松尾ヒサコ コスモスは秋によく映え『秋桜』この夏咲きだす時季を遠くへ 大原真由美 いつ晴れるコロナ禍のいま朝霧に黒き稜線かすかなうねり 福澤 郁文 アカシアの花の匂ひに足止むるワクチン終へし梅雨の晴れ間を 福澤 龜人

第5分館 スポーツ大会

第五分館長 林 寿彦

第五分館では二年ぶりとなる夏季スポーツ大会を七月十一日に行いました。

昨年は緊急事態宣言が発令されるなどあり、関係各位と協議して早々に中止の判断をしました。あれから区民の皆さんも我々分館役員もコロナ禍と一年以上向き合ってきたことになりました。今年はいんなの経験を活かし、コロナ感染対策や熱中症対策も行いながらの開催ができないかと模索し、多くの方から助言をいただき行うことができました。

計画では午前中は囲碁ボール、午後はマレットゴルフとしましたが、マレットゴルフについては長雨によるコースコンディション不良のため中止としました。囲碁ボールについては堀越区民会館をお借りし、天候に左右されることなく実施することができました。

コロナ禍により、人が集まる催しについてはメディア等でも様々な意見が聞かれます。当地域でも当然不安を感じる方も多いと思いますが、ありがたいことに全ての自治会から参加いただき、十二チーム合計五十名と大勢の方に出演いただきました。



開会式は感染対策のため適度な距離間で整列いただきましたが、久しぶりの光景に感慨深いものがありました。

第五分館では過去にも囲碁ボールをスポーツ大会に取り入れたことがありますが、玉の行方が中々思うように

ならないこと、縦横斜めに並べて「目」を作る、または邪魔をするなどのプレー自体の面白さもありますし、老若男女様々な世代やお孫さんと一緒になど、和気藹々とプレーできる楽しさも魅力です。コントロール重視、対戦相手の玉をはじき出そうとパワーで、など、終盤になると作戦にも熱が入ります。ミラクルショットの歓喜、外れた時のズッコケ感など楽しく熱戦を繰り広げました。

また出番を待つチームについては、感染対策のため屋外に設営したいくつかのテントで待機いただきましたが、久しぶりに顔を合わせた人との団欒の場にもなっていました。

屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

まだまだコロナは終息の心配が感じられず、以前の様な日常は遠い先のように感じますが、今後も新しい生活様式に基づいた分館活動をみんなで考え、行っていけたらと思います。

またまだコロナは終息の心配が感じられず、以前の様な日常は遠い先のように感じますが、今後も新しい生活様式に基づいた分館活動をみんなで考え、行っていけたらと思います。

またまだコロナは終息の心配が感じられず、以前の様な日常は遠い先のように感じますが、今後も新しい生活様式に基づいた分館活動をみんなで考え、行っていけたらと思います。

~シリーズ~ 豊丘の自然

No.211

モリアオガエル (アオガエル科)



六月二十一日、午前七時三十分頃だったろうか。下條の石毛さんからの電話。モリアオガエルが産卵中とのこと。石毛さんには写真撮ったかを確認して家を出た。

卵塊、モリアオガエル本体の写真はあるが、産卵中の写真は初めて。折るような気持ちで、車を走らせた。そして、八時二十一

分。ついに産卵中の写真を撮ることができた。ついでに書いておくが、四十二市町村別(昭和の大合併以前)の分布調査、あと、松尾、龍江、座光寺、下久堅、三穂、竜丘を残すところまで来た。

さらに付け加えると、大鹿で一カ所、下條で二カ所、松川では三カ所、確認場所が増えた。確実に分布を拡げている。

分。ついに産卵中の写真を撮ることができた。ついでに書いておくが、四十二市町村別(昭和の大合併以前)の分布調査、あと、松尾、龍江、座光寺、下久堅、三穂、竜丘を残すところまで来た。

さらに付け加えると、大鹿で一カ所、下條で二カ所、松川では三カ所、確認場所が増えた。確実に分布を拡げている。

さらに付け加えると、大鹿で一カ所、下條で二カ所、松川では三カ所、確認場所が増えた。確実に分布を拡げている。

屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

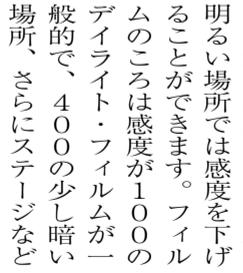
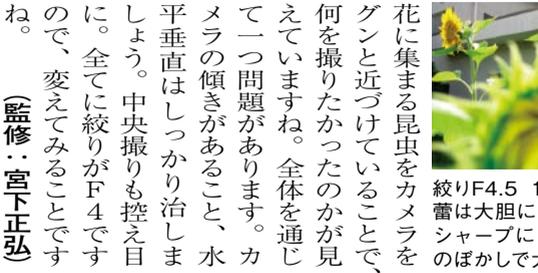
屋内での飲食禁止や共有物の消毒など、煩わしいルールにも皆さんに協力いただき、我々役員も楽しめたひと時となりました。

コンデジ修行 5の5

最近の流行はコンパクトデジタルを使いこなして写真力アップ!

花を中心に自分の好きなように撮影しています。

次はどのように表現するか、視線(アングル)を変えてヒマワリを表現します。



疫病退散の願いを込めて

第二分館社会部長 池野ゆかり

第二分館では田村夏祭りを中止、疫病退散の願いをこめて、花火を打ち上げさせていただきました。夜空

を覆い尽くすように様々な色の花火が咲き、消えていくのを見ながら、普通の日常に戻れる事を願いました。